

永く生きる

建築

～営繕だより～



福島県立あだち支援学校
二本松校舎（1頁参照）

第7号
2025.12

「福島県立あだち支援学校二本松校舎」について（表紙の建物）



外観（西面）

用	途	特別支援学校
構	造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階	数	地上2階建て
延	べ	面積 5,697.36m ²
供	用	開始 R7.10

地区内に特別支援学校がなく、遠距離通学等を余儀なくされていた安達地区の児童生徒のため、充実した教育環境を整えた小中学部の学び舎を二本松市に整備しました。



内部（廊下）

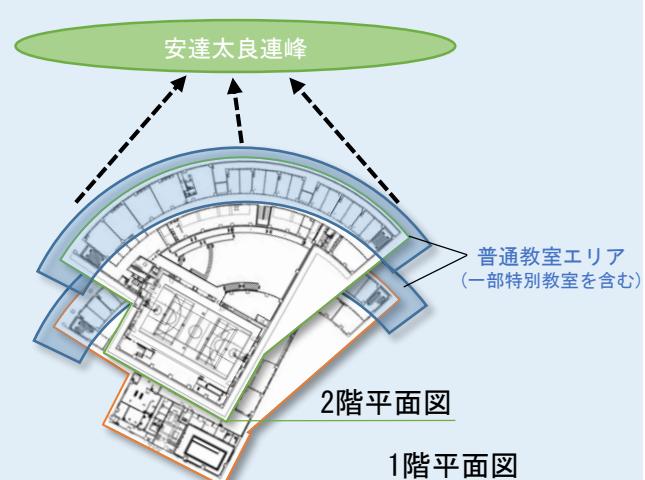


プレイパーク

児童生徒が様々な行事や集団活動を通して社会的自立を図れるよう、校舎の中心に交流の拠点となる明るく開放的な「プレイパーク」を設けました。2階からスロープでも直接アクセスできます。



外観（東面）



豊かな自然環境の中で落ち着いた学校生活を送れるよう、地域のシンボルでもある安達太良連峰への眺望が望める位置に、全ての普通教室を配置しました。

POINT

アール壁（R壁）

アール壁とは、曲面（カーブ）を持った壁のことです、「曲面壁」とも呼ばれています。アール壁は、直線壁と比べて動線を短縮できるほか、空間に柔らかさやデザイン性を加えたり、視覚的な広がりを演出することができます。

公共建築月間関連イベントを開催しました。

令和7年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」にあわせ、県内の建築系学科で学ぶ高校生を対象とした「施設見学会」と公共建築物等を紹介する「巡回建築パネル展」を開催しました。

○施設見学会

公共建築の整備の様子や施設を見学することにより、建築技術者への道を歩もうとする若者をはじめ、県民の皆様に「公共建築の果たす役割や営繕業務への理解」を深めていただくため、見学会を開催しました。

【開催日】 令和7年11月13日(木)・26日(水)

【参加校】 郡山北工業高校・福島工業高校

【見学施設】 林業アカデミーふくしま研修施設・福島県郡山市合同庁舎（福島県郡山市）

林業アカデミーふくしま研修施設

～ 県産材などの活用による最先端林業技術の学び舎～

【福島県 土木部 営繕課】

林業従事者の育成や技術力の向上、市町村職員の森林・林業に関する知識の習得を目的に本施設を整備しました。



福島県郡山合同庁舎（施工中）

～ 災害対策を強化し、環境に配慮した

快適に利用できる新しい庁舎～

【福島県 土木部 営繕課】

既存庁舎における老朽化・狭隘化等への対応や、災害対策地方本部として求められる機能を有する新庁舎を整備します。



【外観】

○見学の様子



【寄せられた感想】

- ・実際の現場を見ることで授業で習った時よりイメージしやすかった。
- ・説明がとても分かりやすく建築について更に興味を持てました。
- ・今回のこととききっかけに公共建築物について更に学びたいと思いました。
- ・工事現場の方々を見て、すごくかっこいいと思ったし働いてみたいと思った。
- ・建設に関わる仕事の魅力や楽しさを知ることができ、進路に関して色々な選択肢を知ることができました。

○巡回建築パネル展



建築関連団体の役割や公共建築の整備を担う東北地方の行政機関の取り組み等について、パネルで紹介するものです。

東北6県と仙台市を巡回してパネルを展示しました。

【開催期間】 令和7年10月27日(月)～11月28日(金)

【福島県展示期間】 令和7年11月10日(月)～11月21日(金)

【展示場所】 県庁西庁舎2階ホール

○「公共建築の日」及び「公共建築月間」とは？

建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと、国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから11月11日を「公共建築の日」とし、この日をふくむ11月を「公共建築月間」としています。



公共建築協会のホームページはこちらから！

パネルデータが見られます！



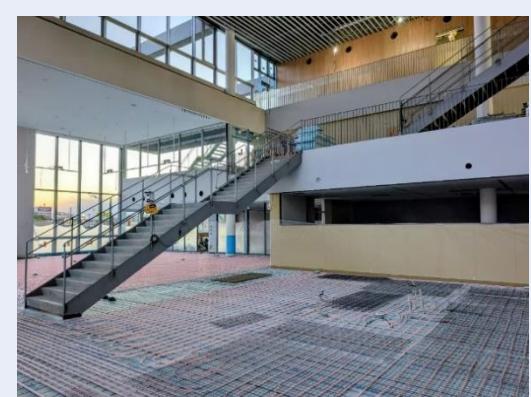
「福島県郡山合同庁舎整備工事」について

既存庁舎の老朽化・狭隘化等の諸課題への対応や、防災拠点としてふさわしい庁舎とするこ
となどを目的に、新庁舎の整備工事を進めています。

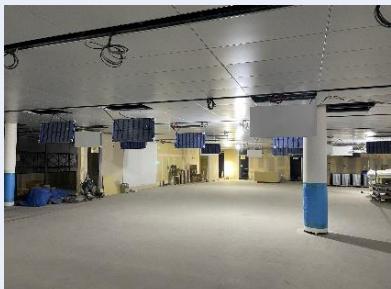
基礎 車体 内外装 設備 外構 完成



外装の仕上げ材を張り終え、外部足場を解体しました。 (R7.11月)



1階エントランスホールの床に冷
暖房配管を設置しています。



1階執務室の内装工事（天
井・壁・床）を進めています。



屋上に太陽光発電パネルを
設置しています。



冷暖房設備の天井ふく射パ
ネルを設置しています。

編集後記

新しい郡山合同庁舎の外観が見えるようになりました。工事中の建物の足場が外れ外観が
現れてくる様子は、贈り物のラッピングを解いていくよう、工事に携わる私たちが楽しみ
にするときの一つです。

また、足場を解体した頃には、建築を学ぶ高校生たちが現場見学に訪れてくれました。彼
らの真剣な眼差しに未来の建設業界を担う可能性を感じることが出来ました。『自分もこん
な工事に携わりたい』と感じてくれていると嬉しいです。

発行については土木部メールマガジンでもお知らせします。メールマガジンの配信を
希望される方は、【土木部メールマガ希望】と書いて送信してください。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

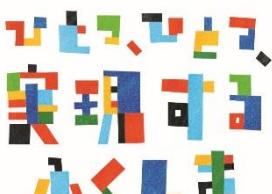
【永く生きる建築～営繕だより】のバックナンバーは、営繕課のHPに掲載しています。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41065c/nagakuikirukentiku.html>

【ふくしま建築探訪】 <https://fukushima-kenchikutanbou.jp/>

【福島県建築・設備技術職案内】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41065a/prwg.html>



問い合わせ先

福島県土木部営繕課 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16（本庁舎4階）

電話 024-521-7530（直通） FAX 024-521-7717

